

各種感染症の拡大防止

1 必要性等

(1) 新型コロナウイルス流行の概要と感染拡大防止の必要性

世界的大流行となった新型コロナウイルスは、その感染力の強さから瞬く間に世界中に拡大し、我国においても緊急事態宣言を発出する等、国を挙げて感染拡大防止に努めています。

そのような中で、**防衛省・自衛隊は、我が国の安全を最終的に担保する危機管理官庁として、厳正な規律を保持して感染拡大を防止し、即応態勢を維持し続けなければなりません。**



(2) コロナ禍における社会の意識の変化

新型コロナウイルスは、人から人へ感染するため、政府は避けるべき3つの密（密閉、密集、密接）等の基準を示し、国民に対して従来からの大幅な行動変容を呼びかけました。防衛省・自衛隊においても防衛大臣から感染拡大防止のための活動方針が指示され、一般よりも厳しい基準で感染拡大防止に取り組んでいます。



かかる状況下で、隊員が定められた各種の感染拡大防止策を完全実施せずに感染した場合、経済が停滞する中で自粛生活に耐える国民の目にどう映るでしょうか。コロナ禍以前に比べて、国民の目線がより厳しくなっていることを深く認識することが必要です。

2 不祥事の未然防止に当たり留意すべき事項等

防衛大臣から指示された新型コロナウイルスの感染拡大防止のための活動方針（令和3年12月時点）は、次の5つです。

- (1) 基本的な感染症対策の徹底
- (2) 教育訓練の方針
- (3) 勤務態勢等の方針
- (4) 行事等の開催の方針
- (5) 部外者の庁舎、駐屯地等への来訪の方針

それぞれの場面に応じて方針の細部を随時確認し、確実に実施することが必要です。また、**方針は今後の感染状況に応じて見直しがあり得るとともに、地域ごとに規制等が随時変化する場合がありますため、常に最新の情報を収集しつつ、これらに柔軟かつ適切に対応していくことが必要**です。

「基本的な感染症対策の徹底」において示された基本的事項の概要

1 「新しい生活様式」の実践

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

- ア **身体的距離の確保**：できるだけ2m空ける。
- イ **マスクの着用**：人との間隔がとれないときはマスク着用
- ウ **手洗い**：帰宅時はまず手洗い（石けん使用時で30秒程度）
- エ **移動は感染症の流行状況を踏まえて判断し、行動履歴を記録**

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- ア こまめに手洗い・手指消毒
- イ 3密（密集、密接、密閉）の回避
- ウ 毎朝の体温測定。発熱等ある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

- ア 買い物：通販利用、電子決済の利用、少人数ですいた時間に。
- イ 娯楽：ジョギングは少人数、すれ違うときは距離を確保。
- ウ 公共交通機関：会話は控え、混雑時間を回避、徒歩等活用。
- エ 食事：持帰りや配達で、対面ではなく横並び、会話は控えめ。
- オ イベント参加：接触確認アプリ活用、体調不良時は欠席。

(4) 働き方の新しいスタイル

- ア テレワークやローテーション勤務
- イ 時差通勤
- ウ 会議はオンライン
- エ 対面での打合せは換気とマスク



2 団体生活における感染拡大防止の徹底

防衛省・自衛隊は、集団行動を基本とする組織であるため、組織内での感染拡大を防止することが肝要です。そのため、**管理者は一人目の感染者が確認された時点で、保健当局による濃厚接触者の指定を待つことなく、先行的かつ幅広く関係者の隔離等の措置を確実に講じなければなりません。**

また、5名以上の複数の感染者が発生した場合は、駐屯地司令等を通じて防衛大臣に報告することが必要です。

